

一、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。



(上杉和央『歴史は景観から読み解ける——はじめての歴史地理学』)

注1 「大和心とは何かと人に問われれば、朝日に映える山桜の美しさがわかることだ」というような意味。

注2 後に光源氏の最愛の妻となる。

注3 「三月(今の四月)も終わりなので、都の花盛りはもう過ぎてしまったが、山の中の桜はまだ花盛りで」の意味。

問一 —— a～hの部分を漢字に直しなさい(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。

問二 (A)～(F)に入る最も適当なことは次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

ア 一方 イ ただ ウ また エ すると オ ただし カ そのため

問三 ～～～～ A～Fのことばはどのような性質のものでしょうか。次の中から選んで記号を書きなさい。

ア ものや事柄ことわりの名前を表す イ 状態や性質を表す ウ 動作を表す

問四 —— 1、この「簡単な頭の体操」の目的は何ですか。文中のことばを三十三字ぬき出して答えなさい。

問五 —— 2、季節から連想する単語が人によって違っているのはどのような場合ですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問六 —— 3、ソメイヨシノが桜前線の指標に利用されるのはなぜですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問七 —— 4、「同じような特徴」とは具体的にどんなことを言っていますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問八 —— 5、「国家主義的な大和魂」のもとで国民が求められていたのはどのようなことですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問九 —— 6、紫式部が桜の季節を選んだのはなぜだと筆者は考えていますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

